

第4章 総括

吹越(2)遺跡は、吹越川南岸の標高約40m付近の河岸段丘上に立地している。調査の結果、10基の溝状土坑と破損した磨製石斧1点が出土し、縄文時代に本遺跡周辺が狩猟場であったと考えられる。

引用・参考文献

青森県 2013『青森県史資料編考古2 縄文後期・晩期』

青森県 2017『青森県史資料編考古1 旧石器縄文草創期～中期』

青森県教育委員会2000『モダシ平遺跡』青森県埋蔵文化財発掘調査報告書第271集

青森県教育委員会2021『林ノ脇遺跡』青森県埋蔵文化財発掘調査報告書第620集

青森県教育委員会2021『百目木(3)遺跡』青森県埋蔵文化財発掘調査報告書第622集

横浜町史編纂委員会1982『横浜町郷土史年表』

横浜町教育委員会1983『桧木遺跡発掘調査報告書』

角鹿扇三・渡辺兼庸1980『角鹿扇三蒐集考古学資料集』

瀬川滋2006『むつ湾東岸域に所在する製塩窯跡』